武石ロマンの会
巣栗渓谷トレッキング
ダムのほとりコーヒー担当

アリオ上田で主催した
助産師 cafe(100 名参加)

1135いい産後講座(母乳育児)

# 声を受け取り、共に考え課題解決に挑み続けます！

"あなたの声は、さいとう加代美が届けます"

2026/1 月
活動報告 vol.9

討議資料
発行責任者
斎藤 繁子

## 私の使命 Mission

**地域周産期医療の充実**

21年前上田市産院存続活動をした責任として、厳しい産科医不足の現実を踏まえ信州上田医療センターのご尽力で集約が実現しました。産前産後のサポートを助産師へと繋ぎ「♪子育てのスタートをあったかく♪」あってほしいと願い、1135いい産後活動を続けママたちに寄り添います。

上田市議会議員（2期目）
厚生教育委員長　無所属

# さいとう加代美

## 上田で育った子ども達が、ここで子育てしたいと思えるまちへ

合併から20年。「均衡ある発展」を掲げ、各地域が自治センター機能を維持しつつ、行政と住民の協働によって特色ある「カラフルなまちづくり」が展開されてきました。その主役は、何と言っても光り輝く住民の皆様です。私は信州国際音楽村の立ち上げに携わったご縁もあり、この丸子地域選出の議員として活動できることを心から誇りに思っております。

現在、市内でも特に私の住む依田窪地域では少子高齢化に歯止めがかからない厳しい状況にあります。だからこそ、地域の資源を掘り起こし、魅力ある拠点を創出することで「賑わい」を取り戻さねばなりません。私は2年間にわたり（仮称）道の駅まるこの実現に向けて活動してまいりました。現在、見通しが立たない状況ですが私は諦めません。地域の素晴らしい自然や人々に光が当たるよう、それらの実現に向けて更なる挑戦を続けてまいります。

## 丸子・武石の地域活性化について一般質問を続けています

【令和7年12月】**仮称「道の駅まるこ」の見通しについて**

<令和5年6月現地視察の様子>

Q 公民連携手法は、スピード感が決め手。ヒアリング調査から2年経過し時間がかかり過ぎてチャンスを逃すのではないかと懸念する。（仮称）道の駅丸子の今後の見通しはどうか。

A 市長）官民連携を前提に、令和12年の開業を目指すスケジュールであったが本年3月以降、財源調達や盛土工事などに関する再精査が必要であることが確認され、9月にこの基本計画（案）を大幅に修正することを公表した。現在は、改めて庁内関係課による事業内容の精査等、関連する様々な協議・検討を進めており、それゆえに具体的な事業見通しをお知らせできる状況にはありません。

Q 再質問）地域経済を引き出す事業を優先する選択ができ、決めるのは市長です。市長のお考えはどうか。

A 市長）内部で調査しているのは事実であり、その結果ができ次第進めてまいりたい。

**三才山トンネルの無料化により、地域要望でもある休憩施設、避難所機能は必須。引き続き実現に向けて活動していきます。**

【令和7年9月】**「美ヶ原高原振興」の仕組みづくりについて**

<道の駅から望める雲海・早朝から満車の駐車場>

Q 令和6年53万人来訪者、県内トップの伸び率の観光地美ヶ原高原でいち早く稼ぎ市の財源へと転嫁し価値を高める市政経営へと願い、稼ぐ仕組みづくりと展望を伺う。

A 武石センター道の駅美ヶ原高原に訪れた観光客は約18万人前年度比20%増で若年層が増加。道の駅の駐車場とトイレの有料化は、原則料金徴収はできず、有料化に向け事業展開の検討を進める。市所有土地の民間の廃墟化した3棟は、本年度建物解体の実施設計を進め、民間事業者の活用で県のチャレンジナガノに参加し『天空の絶景・美ヶ原高原における魅力的な拠点開発』として提案を募っている。上田駅と美ヶ原高原を結ぶ観光バスを運行し7日までに900人を超える利用があり好評。ポテンシャルのある立地特性を捉え市への収入増につながる施策について取り組む。

**令和8年度に実施する美ヶ原高原の老朽化施設解体工事について、債務負担行為可決（86,900千円）＊4月の美ヶ原台上で早期の対応に期待。**

## さいとう加代美　市政報告会開催！

## 可決【子育て応援手当給付 児童一人2万円】

上田市HP 詳しくは

3月中旬頃から支給口座へ振込

## 声のフロー 市民のみなさんのお声から このように実現しました

### ＜園の使用済みおむつ持ち帰り問題＞

解決 **保育園・幼稚園の使用済みおむつが園での処理となりました！**（R5年10月から実施）

| | |
|---|---|
| 孫が園からおむつを持ち帰ってくる（祖父） | 現場の声を聞くと、保育士さんはミスがないよう気遣いに一苦労 |

【令和4年6月に一般質問】

Q 「使用済みおむつ」の廃棄を検討できないか。

A 保護者負担の軽減や、女性の活躍推進の時代の要請から必要性を認識し研究したい

国から「保育所等のおむつ処分を行う推奨（令和5年1月）」の通達も重なり6月に補正予算が組まれ、驚異的なスピードで園でおむつ処分が実現。

次のステップは、リサイクルと考えていたところ・・消費者の会の方から国の再生利用対策に取り組む新聞記事が届きました。

【令和6年3月に一般質問】～ごみ減量で資源循環型施設をコンパクトに～

Q 2030年ごみ全体の7%が紙おむつと推測するが、リサイクルに取り組み考えはあるか。

A 国の調査では、現在5%をしめ、市の排出量は1700t。リサイクル化は必要かつ重要であり、令和6年度から民間施設が行う紙おむつのを確認し、進めていく。

令和7年度は、950万円補助金で、幼保の使用済みおむつのリサイクルを小柳産業㈱の実証実験から実施へと。紙おむつ回収担当課は、保育課から廃棄物対策課へ移管。今後の高齢者施設からの事業系ごみの使用済み紙おむつをリサイクルを検討していくと回答あり。今後の出口戦略のペレット活用について共に寄り添っていきます。

使用済み紙おむつリサイクル機

### ＜産後ケアの使いずらさ問題＞

解決 **「誰でも利用できる産後ケア」へと充実し希望者全員利用可能に！**（R5 12月から実施）

令和3年9月「産後ケアの充実提言（県助産師会）」
対象期間の延長、直接受診への変更を求めた（翌月から変更）
令和5年6月 国は料金補助の全利用者拡大「だれでも産後ケア」方針

上小助産師会のみなさんと

【令和5年9月に一般質問】

Q 産後ケアは希望者全員を対象とするか

A 関係機関と更なる調整や検討も必要。支援を必要とする全ての妊婦に充実を図る。

＊国からの通達もあり、令和5年度補正予算が組まれ、実績447万円（97名）当初予算の倍額
⇒令和6年度975万円実績（251人）訪問支援が追加、県内どこでも利用可
※県内でもトップクラスのケアの充実へ　（長野県助産師会加入）

上田市HP 産後ケア

だれもが笑顔で安心して暮らせる

# ～　私達のまちの喜びを、今いっしょに創る～

## お産や子育て・介護者 高齢者にやさしいまち

母子保健 不妊治療 産後ケアの充実
切れ目なく孤立を防ぐ
地域包括ケアシステムの推進

学びをつむぎ
## 健・幸・実感できるうえだ

風土や資源（森林や温泉など）を活かした健康づくりの推進
気軽に運動 歩いて暮らせるウォーカブルなまち
だれでも学べる生涯学習の充実
安心した居場所作り

## 持続可能な暮らし を楽しめるまち

エシカルな暮らしを推進し応援する
ゴミ減量で資源循環型施設の一日 144t 目標へ
山林・農村の暮らし・農業・水を守る

健康　幸福　平和

## こどもがまんなか 社会の実現と教育

探求心 非認知能力を伸ばす新しい公教育への挑戦
校内フリースクールの充実とオープンドアスクールの実現
「こども権利条例」制定の実現

## 住みたくなる 訪れたくなるうえだ

**～観光による豊かな地域づくり～**

地域の観光資源を磨く・繋ぐ・稼ぐ
住民の誇りを醸成し、賑わいの創出
（仮）まるこ道の駅の PFI による建設へ

新たな分野に挑戦!!

## 挑戦する積極的な市政経営へ　安定財政へ

民間の経営手法も取り入れた公民連携の推進
企業誘致や産業振興・事業実施「選択と集中」
公共施設マネジメントのスピードアップ

これが私の 育てたい未来

活動更新中！
さいとう加代美
ホームページ

## 取り組み・進めて 実現できたこと

○「選択的夫婦別姓制度について議論を求める意見書」請願の紹介議員
　全会一致の可決　県下初で国へ提出

○「女性差別撤廃条約選択議定書の
　速やかな批准を求める意見書」国へ提出
　＜市民相談から上田ともしびの会に所属し一年の準備
　期間 / 市民フェスティバル実行委員として働きかけ＞

陳情アクション信州の皆さん

≪教育厚生委員会からの議案提案≫
・小中学校の学校給食の無償化を求める意見書
・訪問介護報酬の引き上げ等を求める意見書
・義務教育の一層の充実を求める意見書

ともしびメンバーと山下泰子先生

○ゼロカーボンシティ推進本部設置
　「アドバイザー 中島恵理氏」就任へお繋ぎする
　脱酸素先行地域の選定
　→地域電力会社設立へ

就任した元長野県副知事中島さん

○パートナーシップ届出制度への働きかけ
　一般質問（R4.9）➡令和５年８月１日施行

○「上田地域広域連合考えよう！
　私たちの救急医療」保存版発行の実現！
　上田地域広域連合議会での一般質問（R4.10）

令和６年３月から３回発行

さいとう加代美は、「市政へ女性議員を送り出す会」の結成により市議会へ送り出されてから８年となります。地域の女性たちの「もっと女性の参画を」という願いを胸に、台所の声や小さな声を市政へ届け、着実に施策へとつなげる地道な活動を続けてまいりました。

つきましては、皆様のさらなるご理解とご支援を賜りますよう、後援会へのご入会を心よりお願い申しあげます。

さいとう加代美後援会　会長 斎藤繁子

後援会ご入会申し込みを受け付けています

かよ友サポーター募集中！

申し込みフォーム
WEB入会
＼ご縁に感謝いたします／

〒386-0404 上田市上丸子 700-4
■電話&FAX　0268-41-1910
■E-mail　kayosa001@gmail.com
■Web　https://kayomi.wda.jp/